

PRIMERGY TX1320 M1 / TX1330 M1 ご使用上の留意・注意事項

PRIMERGY TX1320 M1 / TX1330 M1 に関して、以下の留意・注意事項がございます。製品をご使用になる前に読みくださいますようお願いいたします。

2021年6月

富士通株式会社

【PRIMERGY TX1320 M1 / TX1330 M1 共通】

1. Intel TXT 機能について

本装置では、ハードウェア上でハイパーバイザを直接稼働させる仮想環境(Windows Hyper-V、VMware ESXiなど)において、Intel® TXT 機能(インテル®トラステッド・エクゼキューション・テクノロジー)をご使用になれません。

2. iSCSI boot について

本装置では、構成により iSCSI boot をご使用になれない場合があります。

iSCSI boot の対応状況については、下記リンクに公開の「システム構成図 ETERNUS 編」をご参照ください。

<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/system/>

3. デバイスマネージャの表示について

Windows のデバイスマネージャにて、オンボード Chipset デバイスの「場所」が「PCI Slot」と誤表示される場合がありますが、システム稼働には影響ありません。(本装置がサポートする Windows の全版数にて発生します。)

※ BIOS R2.14.0 以降でこの問題が修正されています。

4. ビデオリダイレクション(Advanced Video Redirection)ご使用時のキーボード入力について

iRMC FW 7.38F をご使用の場合、iRMC S4 Web インターフェースのビデオリダイレクション(AVR)のご使用時に、キーボード入力ができない場合があります。AVR ウィンドウ内にあるメニューバーの「キーボード」メニュー - 「ソフトウェアキーボード」より、ご使用になる言語のソフトキーボード(仮想キーボード)を選択してご使用ください。

※iRMC FW7.68F 以降でこの問題が修正されています。

5. ネットワークカード / システムボード交換に伴う設定情報の再設定について

Windows Server 2008 R2をご使用の場合、ネットワークカード、またはシステムボードの交換、待機系装置への切替え、他装置へのリストア等を行うと、ネットワークコントローラを新規追加部品と装置が認識するため、ネットワーク関連の設定情報(IP アドレス / Teaming 設定など)が初期化され、再設定が必要となります。

マイクロソフト社の以下の KB(Knowledge Base)を参照の上、事前に Hotfix を適用することで再設定を回避可能ですので、適用をお願い致します。

Windows Server 2008 R2: KB2344941 , KB976042 (SP1 適用時は、再度 Hotfix 適用が必要)

Windows Server 2008 R2(SP1): KB2550978 , KB976042

※ Hotfix 適用にあたっての注意事項

- Hotfix はマイクロソフト社のサポートページから入手してください。

2016年3月時点では、以下の URL から検索可能です。

<https://support.microsoft.com/en-us>

- Hotfix は、OS インストール時に搭載されていた部品情報を有効にするものです。

OS インストール後にシステムボード等を交換していた場合、OS インストール作業時の情報となります。

また、既にネットワーク関連の設定情報が初期化された場合も、Hotfix 適用により回復できる場合がありますので、この場合も適用をお願いします。

なお、Hotfix 適用によって回復しない場合は、ネットワーク関連情報の再設定が必要となります。

この際、ハード変更前の LAN コントローラの情報が残っているため、変更前に使用していたネットワーク接続名を設定することができません。以前使用していたネットワーク接続名を使用する必要がある場合は、以下の作業後にネットワーク関連情報を再設定してください。

- (1) デバイスマネージャを起動します。管理者としてコマンドプロンプトを開き、以下を実行してください。

```
set devmgr_show_nonpresent_devices=1  
start devmgmt.msc
```

- (2) 非表示デバイスを表示可能にします。

デバイス マネージャで [表示] メニューの [非表示のデバイスの表示] をクリックしてください。

- (3) コンピューターに接続されていない LAN コントローラを削除します。

色が薄く表示されている「ネットワークアダプタ」を削除してください。

6. SR-IOV 機能について

本装置では、Single Root I/O Virtualization(PCI デバイス側で仮想化をサポートする規格)が使用できません。

7. UEFIについて

UEFI モードの設定方法や OS 及びオプションのサポート状況に関しては、下記リンクをご参照ください。

<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/products/note/>

8. iRMC S4のご使用上の留意・注意事項について

その他、iRMC S4 に関するご使用上の留意・注意事項については、「iRMC S4(Integrated Remote Management Controller)ご使用上の留意・注意事項」をご確認ください。本留意・注意事項は下記リンクから、ご使用の機種を選択し、各サーバ本体の個別のマニュアルより参照いただけます。

<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/manual/>

9. USB 使用制限使用時の注意事項について

BIOS の USB 使用制限(USB Port Security)を使用する場合は、BIOS セットアップユーティリティにて『USB Configuration』の『XHCI Mode』の設定を必ず『Disabled』に変更してください。

※ 初期値は『Auto』になっておりますが、『Auto』設定で USB 使用制限機能を使用すると、期待する動作になりません。

尚、BIOS セットアップユーティリティの使用方法は、ご使用の装置用のリファレンスマニュアル(以下)をご参照ください。

『FUJITSU Server PRIMERGY TX1320 M1 用 D3239 BIOS セットアップユーティリティ』

『FUJITSU Server PRIMERGY TX1330 M1 用 D3239 BIOS セットアップユーティリティ』

10. Blu-ray ドライブご利用時の留意事項について

オンボード SATA RAID を構成し Blu-ray ドライブを搭載した環境において、Live File システムを利用する場合には、BD-RE(Blu-ray Disc Rewritable)メディアをご利用ください。BD-R(Blu-ray Disc Recordable)メディアはご利用になれません。

【PRIMERGY TX1320 M1】

1. 電源動作について

本装置では、AC ケーブル接続後、電源表示ランプが点滅し、iRMC の起動が開始されます。この際、AC ケーブル非接続時間の長さに応じて、AC ケーブル接続から iRMC 起動開始まで（電源表示ランプは消灯状態）、最大 5 分程度かかる場合があります。

即時起動を開始したい場合は、下図の押しボタン式主電源スイッチを 1 回押すことで、iRMC の起動を開始することができます。



① システムボードや電源ユニットの部品交換直後、またはシステムボード上の電源コネクタ（「PWR1」または「PC2009」）を挿抜した場合

初回の AC 給電時は、電源ボタンを押さないと装置前面の電源表示ランプはすぐには点灯せず、スタンバイ状態にもなりません。

※電源制御装置や、無停電電源装置によるスケジュール運転実施時はご注意ください。

AC 給電後電源投入したい場合は、電源ボタンを押下してください。一度電源ボタンを押せばスタンバイ状態になり、もう一度押すと電源がオンになります。

以降の電源投入は、通常通り、AC 給電されるとすぐにスタンバイになり、電源表示ランプがオレンジ色に点灯します。

② AC 給電が断たれた場合（AC ケーブルの抜き挿しを行った場合、等）

上記以外で AC 給電が断たれた場合（AC ケーブルの抜き挿し、または電源制御装置や、無停電電源装置による AC 切断、等）、AC 給電後、電源表示ランプが点灯するまでの時間は AC 給電が途絶えていた時間に依存します（最大で約 5 分程度要します）。

ただし、この場合は AC 給電されると自動的にスタンバイ状態になります。

—以上—